

名古屋大学における新型コロナウイルス感染者の発生について（第2報）

2020年11月16日

11月11日(水)、本学東山キャンパスにおいて、学生1名の新型コロナウイルス感染が判明し、同じ課外活動団体に所属する体調不良の学生が15名いることが判明した件について、その後、当該15名について、保健所の指示に従い、PCR検査を実施した結果、1名が陽性、14名が陰性であることを確認しました。陽性の学生およびその濃厚接触者(濃厚接触が疑われる者を含む)については、自宅待機等の感染予防措置を講じております。

なお、大学では安全確保を徹底するため、11月13日(金)から11月16日(月)まで、すべての課外活動を停止するとともに、東山キャンパスにおける学部学生、大学院生の登校を原則として禁止し、授業は休講またはオンラインで実施しておりましたが、体調不良者全員についての行動履歴を把握した上で、自宅待機が必要と認めた者には待機を命じ、東山キャンパス全体で学生の登校等を制限する状況を回避したものと判断し、明日11月17日(火)から、当該措置を解除(学部学生及び大学院生の登校可、対面授業可、教職員の出勤制限解除)いたします。

本学では、感染した学生および関係者への配慮と個人情報保護のため、氏名等は公表いたしませんのでご理解いただきますようお願い申し上げます。
また、関係機関と連携を取り、感染拡大を防止するための最大限の対策を実施いたします。